



25万市民の郷土、発展する新春の前橋市街地。

○ として保存しておいてください いつかまた お役にたつことと思います ○

安定成長時代を迎えて



前橋市長 石井 繁丸

新年、明けましておめでとうござい
ます。安定成長定着の年に当り、一言駄
足を加えながら、ご挨拶を申し上げます。

マスコミも程よく消化する 日本人の胃袋

日支事変や大東亜戦争の責任を軍部に
押しつけ、平然としていたのが、日本の
戦後の姿でした。

私は終始、一に軍部、二にマスコミと
いつているものですから、マスコミの方
面からは、あまり喜ばれませんでしたが、
現在でも、すべての世論はマスコミが
つくり、国民は無条件でそれに追随（つ
いずい）するというような考えが、一部
のマスコミの中にあるようです。戦前は
そうでしたが、現在の日本国民は、マス
コミをほどよく消化し、それに引き廻さ
れるようなことがなくなり自分自身で
べてを判断するように成長しました。

今般の衆議院選挙では、その点をみ
ごに示してくれました。自民党だけでは、
腐敗と金持第一主義になる、共産党が愛
される共産党と宣伝しても信用できない、
公明・民社・新自由クラブ等がよく自民
党と相談し、国民のため間違いのない政
治をやれ、社会党も政権を取り責任を持
てるような政党になれというのが、衆議
院選挙の結論といえます。

今般の選挙結果を、まじめに受け止
めて、我々政治に関係する者より世論の方
が賢いと反省し活動する政党に将来があ
ると思います。

つべこべ言い訳したり、強がりをい
って反省がなければ、次の選挙には、な
お一層厳しい批判を受けると思います。

国民は、日本の実情をよく知ってい
ます。政治に求めるのは、この中からい
くらかでもよくなる政治のため努力して
くれ、あまり多くを期待しても駄目だとい
うことを、百も承知しているわけです。

世界一の情報を持つ日本人ですから、
情報の消化能力いかにいうことが、日
本の運命に大変影響するわけです。その
点、今般の選挙は、すべての情報を最も
よく消化した選挙といえます。偉大なる
日本人と、世界の評価をたかめたと思
います。

中道革新の政治

私の人生観は、中庸にして日々新たな
りです。この人生観は、四十歳の頃か
ら一貫しています。中庸だけでは、
停滞します。新たななり、だけでも、暴
走します。中庸にして日々新たななり、
とは、中国の「中庸」という書物と「大
学」という書物からとった言葉です。中
国や日本で、万人必読の書といわれた
「論語」「孟子」「中庸」「大学」とい
う四書がありますが、その中の二書から
の意味深い言葉です。

私が申すと、石井も保守反動になった
などといわれますが、今般の選挙の結果
は、中道革新の勝利と結論されました。

しかし、困難な時代に中道を歩くことは、
なかなかむずかしいことです。左傾した
くなったり、右傾したくなったりしがち
です。中道革新は、革命やファシショ化
より、もっと難しいことだと認識してい
たいと思います。

中道革新にして安定成長時代

世論は中道革新の道をとれと教えてく
れました。中道革新の政治を経済政策に
施しますと、安定成長の政策となります。
現在、世界中が経済的に行きづまっ
ています。北朝鮮なども、財政経済に行き
づまり、食糧にも困窮している状態だと
いわれます。

日本ほどの大国となり、資源のない国
で、安定成長をすることはよほど努力し
なければできないことです。とにかく、
国民が大方針を示してくれたことに、我
々は感謝する次第です。

国体の主会場は前橋と確定

国体の主会場が前橋に確定したこと
は、市民のみならず当然と思いたし
うが、そう決った根本原因はどこにあ
るか考えなければなりません。県も財政
困難で、開催地に協力を求めなければ
なりません。

前橋なら県を助け、大いに協力して
くれるだろうということが、前橋に決定し
た原因だと考えています。市民のみな
らず、その点を自覚され、明治四十三年
の前橋大共進会を実現した気迫を持って
全県民の期待にこたえていただきたいと
思います。



決算議会を終る

34議案・報告7件を可決

12月議会報告

昭和五十一年十二月定例市議会は、十二月二日開会、二十二日まで、会期二十一日間で開かれました。この議会は、別名「決算議会」と呼ばれているとおり、五年度決算の認定が中心となり、三十四議案・報告七件が上程され、それぞれ可決、承認されました。このページは、決算のあらましを中心にお知らせいたします。

市長の決算説明

厳しい地方財政のもとで
昭和四十八年秋の石油ショックの影響を受けて、四十九年度の日本経済は、年度当初からインフレと不況の板ばさみになり、さらにこれが五十年に引き継がれました。国では、インフレ抑制をスロガンに、総需要抑制策をとり、緊縮型予算を編成しました。

政にも厳しく波及しました。前橋市では、こうした経済の悪化、景気沈滞を予測し、歳入の中心である市税には特に慎重を期しました。法人税は四十九年度収入額の六〇％を当初予算に計上、経済の推移に対応、弾力的財政運営ができるポイントとしました。さらに、地方交付税、地方譲与税、自動車取得税交付金などにも積算根拠を精査し、歳入欠陥とならないよう配慮しました。

収支では四十九年度決算を下回りましたが、一応、黒字決算となり、財政の健全性が維持されたといえます。

民生福祉を基調に事業が進められました。厳しい情勢下で、新規事業として進められたのは――

①工業短大の図書館棟の新築。
②前橋駅南口区画整理事業に連して、改良住宅30戸を建設。
③広瀬川河畔を年次計画で緑化整備に着手。
④向毛線連続高架化事業に着手。
⑤児童急増対策として、朝倉小学校、勝山小学校を新設。

昭和50年度決算総括表 (1万円未満4捨5入)			
会計名	歳入	歳出	差引残額
一般会計	241億5,968万円	240億1,386万円	1億4,582万円
国民健康保険	36億9,237万円	34億5,621万円	2億3,616万円
特別会計			
食肉処理場	4,170万円	3,820万円	350万円
中央児童遊園	4,631万円	4,499万円	133万円
競輪	155億0,706万円	149億6,127万円	5億4,578万円
中小企業合理化資金貸付	2,138万円	1,062万円	1,076万円
用品調達	8億7,331万円	8億7,331万円	0万円
小計	201億8,213万円	193億8,460万円	7億9,753万円
合計	443億4,180万円	433億9,846万円	9億4,335万円

昭和50年度一般会計歳入歳出決算			
科目	歳入額	科目	歳出額
市税	92億3,411万円	議会費	2億3,719万円
地方譲与税	1億5,550万円	総務費	31億1,973万円
自動車取得税交付金	2億1,962万円	民生費	39億1,362万円
地方交付税	18億8,459万円	衛生費	8億9,859万円
交通安全対策特別交付金	4,769万円	労働費	4億2,799万円
分担金負担金	2億5,082万円	農林水産業費	12億1,430万円
使用料及び手数料	3億4,157万円	商工費	12億7,986万円
国庫支出金	41億3,483万円	土木費	56億2,341万円
県支出金	9億9,161万円	消防費	6億4,350万円
財産収入	7億2,890万円	教育費	45億5,067万円
寄付金	1億1,703万円	公債費	8億1,559万円
繰入金	6億2,892万円	諸支出費	12億8,939万円
繰越金	3億4,324万円	予備費	0万円
諸収入	32億0,745万円		
市債	18億7,380万円		
歳入合計	241億5,968万円	歳出合計	240億1,386万円

広報手帳

□前橋公共職業安定所で、テレフォン・ガイド「求人案内」の職安では、求人案内の電話サービスを行います。約一週間の周期として男女それぞれ八、十件程度の求人を探し、みなさんがダイヤルすると、いままな求人があるかを知らせるものです。ダイヤルは、32局三七三〇番です。どうぞ。

□税金の還付申告お早めに。昭和51年分の所得税確定申告と納税は2月16日から3月15日まで。税金の還付を受けるための確定申告は2月15日以前でも受け付けます。還付される人は①住宅を新築したり新築住宅を買った人②病気などのため多額の医療費を支払った人③災害や盗難にあつて損害を受けた人④51年の途中で退職し、年末調整のしていない人⑤所得があまり多くなく、原稿料や配当などがある人⑥予定納税のある人で、確定申告の必要がなくなった人――などです。

（前橋税務署）

□県民手帳若干残部あります。若干の残部があり、先着順で頒布します。価格は三百円。主な内容は名簿編（諸官庁、公職員等）県勢資料編、便覧編など。申し込み、問い合わせは市商政課（電話24局一一一内線二四八）へ。

□1月の交通事故出張相談。1月19日（水）午後1時～4時、前三百貨店で。

□県で保母試験筆記試験2月22日

日・23日、高経大で。実地試験3月15日・16日、県立保育大学校で。試験実施要領は50円切手を貼った返信用封筒を封入、県婦人児童課保育係（大手町一丁目一一一、電話23局一一一内線三三四）へ請求を。願書締め切りは1月25日まで。詳細も同課へ問い合わせを。

52年度公私立

保育園児募集

10・11・12日各保育園で12月1日号広報でお知らせしました保育所（園）の入所申請書の受け付けをいたします。1月10日・11日・12日の3日間、希望する保育所、保育園で手続きをとってください。

ただし、新設の桃木保育園については、幸塚町公民館で。



「うまいなあー」

市議選立候補予定者 打合せ会開きます

市選管では、2月13日（日）執行予定の市議会議員選挙に立候補しようとする人、および政党代表者等との打合せ説明会を、1月13日（木）午前9時30分から水道会館ホールで開きます。希望者はこの日、立候補者等打合せ会1月13日。選挙告示の日2月3日。投票日2月13日。公職選挙法による任期満了の日2月22日。詳しくは次号広報でお知らせいたします。

（選挙管理委員会）

市議選日程

出席ください。

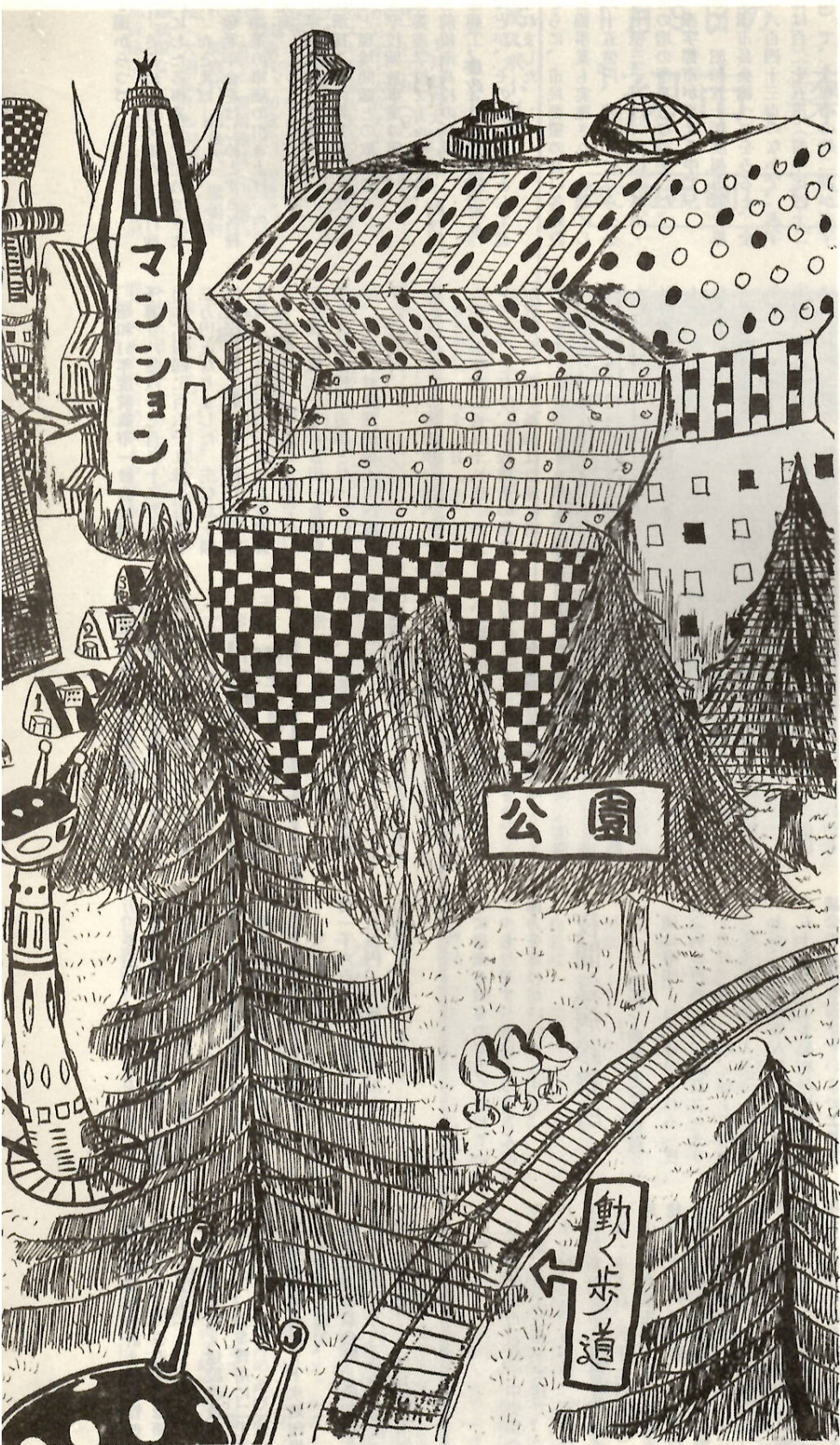
水道排水区域

 単独公共下水道排水区域
 管渠設置箇所

わたしたちの初夢

前橋の未来園

みなさんは、未来の前橋について考えたことがありますか。目ざましく発展している前橋が、五十年・百年後、どのような街になるかを、市内の小中学生のみなさんに、描いてもらいました。みなさんも、元旦の茶の間の話題の一つに加えて「わがまちの夢」を話し合ってみませんか。



子どもの広場がほしいなア...



思いきりとんだり跳ねたりできる子どもの広場がほしいなア。
一階はプール。二階は体操教室。三階はバレーボール教室。四・五階は剣道・柔道教室。広い庭はサッカー教室。
子どもたちが毎日汗を流して運動できる、そんな広場がほしい。
土・日曜日は、専門の先生が教えてくれる。未来のオリンピック選手をめざして、トランポリンの上で、とんだり跳ねたり。楽しいなア。(東小学校六年二組・松田由華里)

田園都市めざして



ぼくは、未来の前橋を自然に恵まれた田園都市にしたい。少しぐらい不自由な生活だっていい。そのころは高崎市と一つになっているだろうが、県庁・裁判所・工場などは南に移し、その跡を農地・草原・森林・池などにし、市が管理をする。農民は安心して耕作し、人々は落ち着いて住み、動物たちもびのびくらす平和な都市だ。また、百年たった後でも、「これが前橋だ」といえる今の前橋のいい所をたくさん残しておきたい。(第七中学校一年一組・平岩行雄)

自然のある前橋に

のも戦場や廃墟のあわれな姿となるのも、私たちの努力でどうにでもなることだ。科学が進歩し、宇宙のどこやらの星と行き来しようなどと高望みしないから、せめて平和であってほしいと思う。今のままでなくても、今の面影をほんの少し残しておいてほしい。(第五中学校二年三組・久保田詠子)



世界中の動物が遊ぶ公園



美しい自然に恵まれている前橋。この街を水と緑に囲まれた、思いきった近代的な都市にできたらいい。ぼくが、今、望むものは、赤城から利根川を含む自然動物園である。流や小川、池など、自然の美しさを現わした公園。だが、その裏は、コンピュータが温度などをコントロールする、近代的な設備を誇る緑園である。世界中のかわいい動物が遊ぶ公園。その中でぼくたちも、四季を問わず好きなスポーツができたならいい。(南橋中学校二年六組・大河原文明)

緑の木立の中に市立の博物館



わたしたちの学校の回りは、一面田のすばらしい風景。そこにたくさんの木々を植え、きれいな花だんをつくり、大きな自然公園ができ、そのそばにおとも子どもも思いきり遊べる広い公園ができたらいいなあと思う。そして、大きな会館もでき、そこでいろいろな発表会や大会ができるようになり、音楽も聞けるようになったらなあと思う。



わがまちの夢を描く
三中の原田、岡部君。

* 絵に寄せて

機械と緑の調和

ぼくたちが考える未来の前橋。
こんな夢を盛り込んで描いてみた。

自動車は、排気ガスの出ないエアーカーとなり、高速道路を走ると前橋から東京へわずか30分で行けるようになる。夜になると、高速道路のまわりにたっているフラッシュ・タワーに明かりが付き、ドライバーの安全を保ってくれる。

公園は、緑が豊富でいろいろな種類の木が植えられており、中央には動く歩道が通っている。

マンションは、緑に囲まれていて、総計5千人を収容できる大規模なものである。また、中にはバレーボール、テニス、卓球などができる運動場が設置されている。そのほか日常生活では、機械がすべてオートメーションになっている。ぼくたちの希望する前橋は、機械と緑がうまく調和していて、スモッグ・排気ガス・騒音などの公害もない、住みよい町である。

(第三中学校2年5組・原田浩、
2年7組・岡部功)



五十年・百年先に、はたして何が起こっているだろうか。百年先に私が生きていることはないと思うが、五十年先には、まだ生きていると思う。なるようになるなどと言っているのではない。五十年・百年後の前橋が、平和のままある

わたしのねがい 平和のまち

*

父は、よく仕事で外国へ行きませんが、下水も便所も完備されていて、とてもきれいだそうです。前橋も、早くこのような街になればよいと思います。(勝山小学校六年三組・森島敏夫)



父は、よく仕事で外国へ行きませんが、下水も便所も完備されていて、とてもきれいだそうです。前橋も、早くこのような街になればよいと思います。(勝山小学校六年三組・森島敏夫)

きれいな川と 青い空

*

ぼくが望む前橋の未来は、たくさん緑、きれいな川、すみっくた青空、ゴミのない街です。きれいな川にするには、前橋市全体の地下に下水道を造ることです。水をきれいにする下水処理場や、し尿処理場を早く増設し、市の周辺の町も早く水洗になればよいと思います。(桂童小学校六年二組・女屋幸枝)



ぼくが望む前橋の未来は、たくさん緑、きれいな川、すみっくた青空、ゴミのない街です。きれいな川にするには、前橋市全体の地下に下水道を造ることです。水をきれいにする下水処理場や、し尿処理場を早く増設し、市の周辺の町も早く水洗になればよいと思います。(桂童小学校六年二組・女屋幸枝)

リニアモーターカーと 動く歩道

*

ぼくたちの前橋市でも、例年自動車などによる交通事故や公害が問題になっています。そこで、ぼくは街の中や人のたくさんいる団地などに、リニアモーターカーやモノレールを走らせたいと思います。立体化されていて、土地がいらないし、安全で公害がないのが一番だと思っています。また、歩道を「動く歩道」にして、リニアモーターカーなどの駅と結べば、歩く人もつかれないし、とても便利になると思います。(二之宮小学校六年一組・大沢茂男)



ぼくたちの前橋市でも、例年自動車などによる交通事故や公害が問題になっています。そこで、ぼくは街の中や人のたくさんいる団地などに、リニアモーターカーやモノレールを走らせたいと思います。立体化されていて、土地がいらないし、安全で公害がないのが一番だと思っています。また、歩道を「動く歩道」にして、リニアモーターカーなどの駅と結べば、歩く人もつかれないし、とても便利になると思います。(二之宮小学校六年一組・大沢茂男)

自然を生かし 公害のないまちへ

*

わたしたちの住むまちを、今までより、いっそう住みよくしたいというのは、みんなのねがい。たとえば、今よりも交通を便利にし、子どもが安心して遊べる公園をたくさんつくる。緑を多くし



自然を生かしてほしい。また、公害をなくし、自然をみんなの手で守っていききたい。そのほか、図書館、福祉会館も大いに利用してもらおう。お年寄りを大切に、子ども、老人の事故をなくしたい。こんな希望を、みんなが協力して実現していきたいと思う。(若宮小学校六年二組・久保由紀)

また、博物館もできて、天神山や近くの古墳からの出土品、資料を展示して、人々が昔の文化にじかに接することができるようになったらなあ。(朝倉小学校六年二組・布施弓子)

成人祝

県民会館大ホール

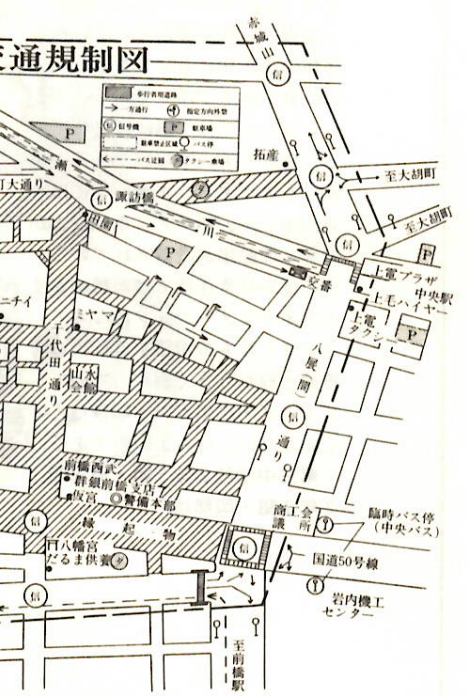


第二十九回成人祝の案内状を、当のかたにお送りしましたが、お手もとに届いたでしょうか。まだ届かない人は、五日から受け付けをしますから、市社会教育課（市千代田町分室内）へお出かけください。案内状をさしあげます。

なお、成人祝の式典は、一月十五日（土）午後九時、開会十時、閉会十二時の予定。会場は群馬県民会館大ホール。当日は講演（「歌つくりと人生観」）と作曲家遠藤実さんとアトラクションも予定されています。

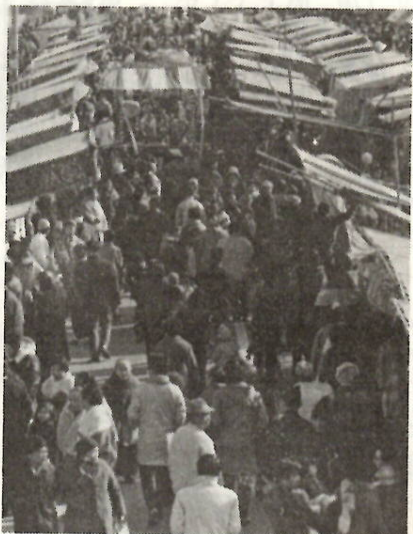
当日の出入は五十万人と予想され、市街中心部はもとより、周辺道路も相当混雑します。交通規制にご協力ください。

△交通規制の内容▽
期日は、一月九日。時間はあさ九時からよる十一時まで。規制区域は下の図のとおり。規制区域内には、自転車、バイク、自動車とも入れません。当日、市街地中心は交通が混雑します。市内を通り抜ける車は、なるべく迂回してください。なお、バスは国道50号線本町通りが交通規制のため、迂回します。ご注意ください。



1月9日の 初市案内

交通規制にもご協力を



50万人の人出でにぎわった昨年の初市

正月九日は、永い伝統を持つ前橋の初市（別名だるま市）です。

古くは、午前八時八幡宮境内で午前10時30分まで。古くは、各目お持ちを。渡御（とぎよ）の儀は八幡宮境内を午前11時に出発、えびす通り、本町通り、八幡通り、銀座通り、立川通り、中央通りと一巡、群銀支店前まで。

△初市の行事案内▽
古くは、午前八時八幡宮境内で午前10時30分まで。古くは、各目お持ちを。渡御（とぎよ）の儀は八幡宮境内を午前11時に出発、えびす通り、本町通り、八幡通り、銀座通り、立川通り、中央通りと一巡、群銀支店前まで。

市民スポーツ祭 スキー大会

1月23日大穴スキー場で
一月二十三日（日）午前九時三十分から水上大穴スキー場で、第三十回スキー競技大会を開きます。種目は大回競技（少年・少女中学生男子・女子、一般男子10歳代A・B、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、女子）距離競技（10歳代20歳代、30歳代、40歳代）職対抗競技（大回年齢別10人、リレー年齢制限なし4人）
参加資格は、一月十三日現在前

スポーツ

橋市に在住、在勤または在学者（年齢制限なし）は、一月二十三日（日）午前九時三十分から水上大穴スキー場で、第三十回スキー競技大会を開きます。種目は大回競技（少年・少女中学生男子・女子、一般男子10歳代A・B、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、女子）距離競技（10歳代20歳代、30歳代、40歳代）職対抗競技（大回年齢別10人、リレー年齢制限なし4人）
参加資格は、一月十三日現在前

初市写真コンテスト

初市を題材とし、宣伝用・観光用として活用するフレッシュな作品を募集します。作品は①初市まつりを題材とし、②カラフルプリント（キャビネ以上、四つ切りまで）③組写真、スライド、モノクロは除外④入賞者、版権は主催者に帰属します。
入賞15点に賞状と記念品。入賞作品は「三大まつり写真コンテスト」に入賞します。

少年野球リーグ

少年野球が盛んになり、市教委主催の大会のほか、少年リーグ等が開かれますが、この加入手続き等について一月十三日（木）までに済ませてください。詳しくは少年野球リーグ育成会事務局鎌田宅（電話24局四七四五）へお問い合わせください。

前橋市児童館あんない

1月12日（日）お話し（村田康男）
1月19日（日）お話し（村田康男）
1月26日（日）お話し（村田康男）
1月の休館日は、1日から5日まで、日曜・祝日。ほかの日は、毎日午前10時から午後5時（土曜は3時）まで開館。トランプ、かるた、羽子板、竹馬、ゲームなど、いろいろのお正月の遊び道具もそろえてあります。行事のはじまりは午後3時から。児童館は日吉町三丁目10-17、電話33局五二二番。

図書館 だより



△上州再発見シリーズ▽
1月10日（日）谷川岳の自然
1月17日（日）新島襄
1月24日（日）緑起るま
上映時間は一回目は12時20分から、二回目は3時から、それぞれ30分間です。
△レコードコンサート▽
1月14日（日）レイクエム・モーツァルト
1月21日（日）展覧会の絵・ムソルグスキー
1月28日（日）ウィーン少年合唱団特集
演奏時間は一回目は12時10分から、二回目は3時から、それぞれ40分間です。

児童文化センター 行事あんない

24局2548



高くあがるかな（昨年）

△プラネタリウム1月の投影テリ▽
1月3日から9日まで、子ども向けに「星ものがたり（オリオン神話、おうし座物語）」10日以後は「こまのようになまる地球」で一年前の北極星の話題を投影します。
△たこをやって河川敷へあげにいこう▽
1月9日午後1時から4時（たこ作り）、1月16日午後1時から4時（仕上げ・たこあげ）。対象は小学3・4年生まで四十人。受講料は無料。講師は中川小学校教諭杉本寿男さん。1月5日から受け付けます。材料費二百円を添えてセンターへお申し込みを。
△こども映画会▽
1月16日午後1時30分から3時まで。「バズーカ先生と子どもたち」「山びこ歌え」「人のくらし百万年」を上映します。定員百人。
△天文教室「惑星の観測をしよう」▽
1月22日午後6時から8時までセンター屋上で。対象は小学4年生から中学生まで四十人。受講料は無料。講師は第二中学校教諭土屋清喜さん。1月16日から受け付けますから、電話または直接来館して申し込みください。定員になりしだい締め切ります。筆記用具を持参を。
△小・中学校図画作品展▽
今月は東小学校、広瀬小学校、総社小学校、第五中学校の図画作品を、三階展示室と各階段パネルに展示します。



- 「あたたかいころ」
- 「みくず入れ五個（二万八千円相当）」前橋青年会議所（小野里節司理事長）から市へ。市では前橋駅前、バラ園、交通公園、前橋公園、敷島公園へ配置。
 - 傘立四台（五万円相当）前橋水泳協会（木村利男理事長）から二台、前橋水泳協会後援会（浦野洋子会長）から二台、温水プールトレーニングセンターへ。
 - 理髪無料奉仕、ケーキ二箱、おもちゃダンボール二箱、マンガ本三十冊三河町一丁目17、セーヌ美容室のみなさんから、上毛愛隣社の園児へ。
 - 現金七千四百七十二円松清昭和店と来店のお客様ならびに従業員のみなさんから。
 - 現金三千円匿名のかたから。
 - 「そうきん百十一枚」前橋町一・二・三丁目連合老人クラブ中央会（安原一郎代表）のみなさんから。
 - 現金一万円下小出町一婦人から交通遺児のために。
 - 現金一万五千円「城八会」城東小学校昭和八年卒業生のみなさんから。
 - 「そうきん十枚・おむつ五十枚」東片貝町九三三、吉岡芳枝さんから。
 - 現金五千六百三十七円上小出町匿名のかたから。
 - 現金三千六百五十五円日吉町四丁目一六六、荒井昌良さんから老人ホームへ献代の一部として。
 - 現金七千六百七十四円箱田町一〇四七、アスタードライ（渡辺勝一社長）のみなさんから。
 - 現金一万二千六百四十円・まき三郎東・練炭五袋小林誠一郎、倉林孝、小川一夫、増田材木店さん、ほか匿名のかたから。
- 社会福祉事業基金寄付金
- 現金十万円前橋商工会議所婦人会（中村宇多会長）から、クリスマス慈善パーティー益金を。
 - 現金千円一市民のかたから。

市議会 年賀状自粛

市議会においては、先に新生活運動の趣旨にのっとり虚礼廃止を申し合わせ実践しています。このため、議員の市内在る年賀状について、市議会だよりを通して新年のごあいさつをさせていただきまし。市民のみなさんのご理解をいただきます。お願いいたします。

冠婚葬祭簡素化シリーズ ②

葬儀については、だいたい徹底しているようです。親せきと一般は区別しているようです。これは、近所のつきあいはいい人、遠所は、知人の関係がむずかしい。簡素化ではねえ。（西大室町・44歳）



久保惣一さん

葬儀だけにこだわらず、出産、病氣、お祝いなども簡素化されて五百円なんです。私も実行しています。もちろん、これは普通の場合、とか親戚の人は別だと思えます。わづらわしさがなくて、簡素化はよいことですね。（下大屋町・55歳）



森田しづさん

みんな自覚して簡素化を実行しています。市の指導は大変タイミンがよかったといえます。正確なところ、誰れもが簡素化を願っていたのだと思えます。ただ、誰れかが取り決めたをやるようだと、長続きしないから困るよね。（富田町・50歳）



小林竹二さん

ずいぶん簡素化されてきたようです。よいことだと思えます。以前は、香典五百円というものでしたが、今は千円です。物価高ですからしかたないでしょう。今の段階では、親せきまでは無理のようですが、これも話し合ってみる必要があるのでは。（今井町・46歳）



小淵美江さん

給食員・公園助手 用務員・清掃員 募集

市では給食員、用務員、公園助手、清掃員を各若干人募集します。受験資格は、各職種とも①昭和十六年四月二日以降に生まれた人 ②通勤可能な地域に居住している ③給食員は男子・女子、その他は男子に限る。試験日は一月二十一日（金）、工業短期大学で行います。試験実施要項、申込書は市役所人事課に用意してあります。申込受付期間は、一月十日から一月十八日まで。なお、詳しいことは人事課まで。

詩のふるさと・前橋 今回をもって完結

昭和四十八年七月から約三年半、八十五回にわたって連載してきた「詩のふるさと・前橋」は、今回をもって完結いたします。長い間の愛読、ありがとうございます。この連載でとりあげられたのは萩原朔太郎、平井晩村、高橋元吉、萩原恭次郎、山村暮鳥、室生犀星

北原白秋、草野心平、高村光太郎、伊藤信吉など、前橋に生まれた詩人、前橋にゆかりの詩人たちが、こうした詩人たちの前橋とのかけあひ、ふるさと前橋に寄せた望郷の思いなどが書かれたものです。追って、一冊にまとめ発刊の予定です。ご期待ください。

なお、この連載を執筆してきたのは、市立図書館勤務の野口武久さん（参考調査係長）でした。野口さんは、多忙な勤務のかたわら、土・日曜を取材や資料収集にこつこつと、執筆はほとんど夜といふ状況で、三年半にわたってこの連載を担当されました。現在群馬詩人クラブ幹事、朔太郎研究会幹事、詩誌「軌道」同人、詩集「夢の中の土地」、「日本の詩・大拓次」（ホルブ出版）などの著書もあります。



野口武久さん



＜あなたも小さなボランティア活動を＞

目の不自由な人に苦手 交差点の横断

一声かけて手をとり誘導

交通量の多い市街地の交差点の要所には、目の不自由な人のために音響信号機が取り付けられ、交通の安全を守っています。しかし、これもごく限られた場所のみで、ほとんどの交差点では普通の信号機によって通行の調整を行っています。この信号機があるため、健康な人は安心して通行できますが、目の不自由な人は信号機の発する色を確かめることができません。交差点で白い杖を持った目の不自由な人を見かけたら、先に一声かけて、手をとり親切に誘導してください。この思いやりこそボランティア活動です。市民としてボランティア活動に参加を。

前橋付近の野鳥たち ②

ハクセキレイ (セキレイ科)

利根河原のハクセキレイ

北海道や東北地方の北部で繁殖しますが、この辺には冬鳥として渡来します。前橋では、利根河原でよく見られる鳥です。白い顔に黒の過眼線が特色で、セグロセキレイ、キセキレイ（共に留鳥）と容易に区別できます。夕がたになると、橋の下や大きな木などのねぐらに数十羽、数百羽集まることがあります。鳴き声は「チッチ、チッチ」で、セグロの「ジジッ、ジジッ」より高い。全長は二十一センチほどです。（文・日本野鳥の会前橋分会、写真・斎藤謙さん）



利根河原のハクセキレイ

ふるさと昔語 執筆は酒井正保さん

一月十五日の広報紙から「ふるさと昔語（むかしがたり）」を連載いたします。内容は、前橋のふとした路傍にひっそりと建っている道祖神、石仏、道しるべなどをとりあげた「前橋の野仏たち」、昔から、ふるさと前橋に語りつがれた「前橋の民話」、親から子へ子から孫へと伝えられてきた「前橋のわらべうた」、前橋の方言や風習なども織り込んだ「前橋のことば・風習」などが予定されています。執筆は民俗研究家の酒井正保さんです。酒井さんは日本大学芸術学部音楽科卒、石仏、民話、わらべうたなど多方面にわたって造詣が深く、「群馬のわらべうた」「上州の民話」などの著書多数があります。

詩のふるさと・前橋 (85)

文学の小道

③

高橋元吉 木犀の匂ひ

木犀が咲き出すと 水晶製の空気がどこからともなくながれてきて 水のように音なくながれてきて 時によるとはかものものがみんな消えてしまつて 木犀の匂ひだけが 地球のうへをながれてゐることがある。

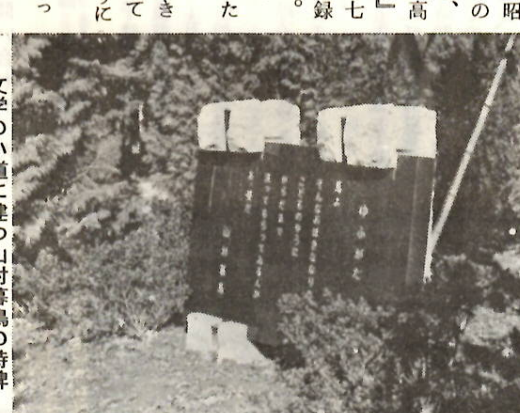
元吉四十二歳。昭和十年の作である。元吉の詩には花や植物をうたったものが多いが、ここに「木犀」をこよなく愛した。この他に「木犀」「木犀の花」（昭和三十一年の作）があり、いずれも「高橋元吉詩集」（昭和三十一年刊）に収録されている。

*山村暮鳥 ゆうがた

馬よ そんなおほきな なりをしして ことものように からだまで 洗つてもらつてゐるんか あ、螢だ

詩集「雲」（大正十四年刊）に収録されたもので、「あ、螢だ」とあるように、夏の暮れどきの、のんびりした村の風景をうたったものである。

*竹内茂登子 両がはの街路樹すずかけそよきた ちた立来らしはやき雲あし 吾子よ吾子よ今朝朝がほの色よきぞ 蚊帳をいでてよ松の具もちこよ 二首とも、歌集「水鏡」（昭和六年「野菊社」刊）の「伊香保」にて十六首中にある。茂登子は



文学の小道に建つ山村暮鳥の詩碑

文学の小道——そこには春夏秋冬、花を咲かせ色づく植物がある。そして緑の中に語りかける文学碑がある。広くあくまでも抜けるような前橋の空がある。そこからはふるさと前橋の山がくっきりとみえる。少年達はそこで何を対話するだろうか。この小さな道は、やがてそこを遊んだ遠い夢の日の中で、何ものかをききこむと思ひ出すにちがいない。

(完)